

# 山陽新聞に食育推進全国大会 in おかやまの取材記事が掲載されました

第3種郵便物認可

## 来て見て学んで

### 食育推進全国大会 in おかやま

桃太郎「好き嫌いをなくせば強くなれる」  
鬼「もつとご飯をしっかりと食べよう」

山陽学園短大(岡山市中区平井)の食物栄養学科の学生が手作りしたパネルシアターの一場面。偏食でコメや野菜、肉を食べない3匹の鬼を退治した桃太郎が、バランスの取れた食事をしようと言い聞かせて改心させるストーリーだ。

「幼少期からの食育が大切。そのために家族全員で食生活を考えてほしい」とリーターの2年常見莉央さん(20)。第12回食育推進全国大会ではジッファリーナ岡山(北区いずみ町)の一角に「親子で一緒に!レッツ食育!」と題したブースを設け、子育て世帯が気軽に立ち寄れる内容にして、家庭で食育を実践する契機にしようつもりだ。

メインのパネルシアターは、保育園や幼稚園でよく使われ、子どもなじみが深いことから企画。市内開催にちなんで桃太郎を登場させ、5月から放課後などに構想を練ってきた。本番では1回約10分の上演を繰り返す予定で、学生がキャラクターに合わせた衣装を着用して盛り上げる。

ブースではほかに、箱に入れた野菜を触って種類を当てるクイズなども計画。参加した子どもには、手作りのメダルを贈る。

準備に携わったのは、栄養士を志す1、2年生の18人。食物栄養学科の宮原公子学科長は「出展は学生にとっても勉強になる。大会を通して、食育をリードする存在としての意識向上につなげたい」としている。(杉野真歩)

食や健康をテーマにした「第12回食育推進全国大会 in おかやま」(市など主催)が30日、7月1日に市内で開催される。講演や実演ステージなど31プログラムと、企業などによる約110のブース出展がある。市内の学生や団体が企画した市民参加型イベントの一部を紹介する。

のほか、各地の関係団体が出展して先進事例などを紹介する。県内開催は初めてで、岡山市は期間中に2万人の来場を見込む。

**スーム**

食育への国民の理解を深めるため、「食と育月間」(6月)の中核行事として2006年から国と開催自治体が共催。講演会やシンポジウム

## 家庭で実践する契機に



パネルシアターの準備を進める山陽学園短大食物栄養学科の学生

2017年6月27日(火)付の山陽新聞に食育推進全国大会 in おかやまについての取材記事が掲載されました。

上記の記事のとおり、本学は、「親子で一緒に!レッツ食育!」をテーマに、ジッファリーナ岡山にてブースを出展し、子育て世代へ食育の大切さを伝えるため、パネルシアターや展示を行います。食物栄養学科のボランティア学生がこの全国大会に向けて準備を頑張ってきましたので、ご来場の方は是非ブースにお立ち寄りください。

開催日時：平成 29 年 6 月 30 日 (金) 10:00~17:00  
平成 29 年 7 月 1 日 (土) 10:00~16:00

開催場所：ジッファリーナ岡山、岡山コンベンションセンター